

川で遊ぶときは注意しましょう 夏編

川や水辺には子供だけでは行動せず、必ず大人が同行し子供達から目を離さないでください。



※苔にも注意!



コンクリートの上は足元が悪いので滑ります。



流れが早くなったり深みがあるため危険です。特に夜は、暗くて川底が見えなくなるので川に近づかない事。



雨が降ると急に水位が上がり戻れなくなります。



ふちを歩くと崩れて川に落ちたりケガをします。



国土交通省

北海道開発局 旭川開発建設部 旭川河川事務所 ☎0166-48-2131

【河川での事故・緊急連絡先】 119番

川ではこんな場所に注意!

危険ポイント①

川の水があたっているコンクリート

コンクリートの上は滑りやすくなっています。足元を踏み外してケガをしたり滑って川に落ちる危険があります。

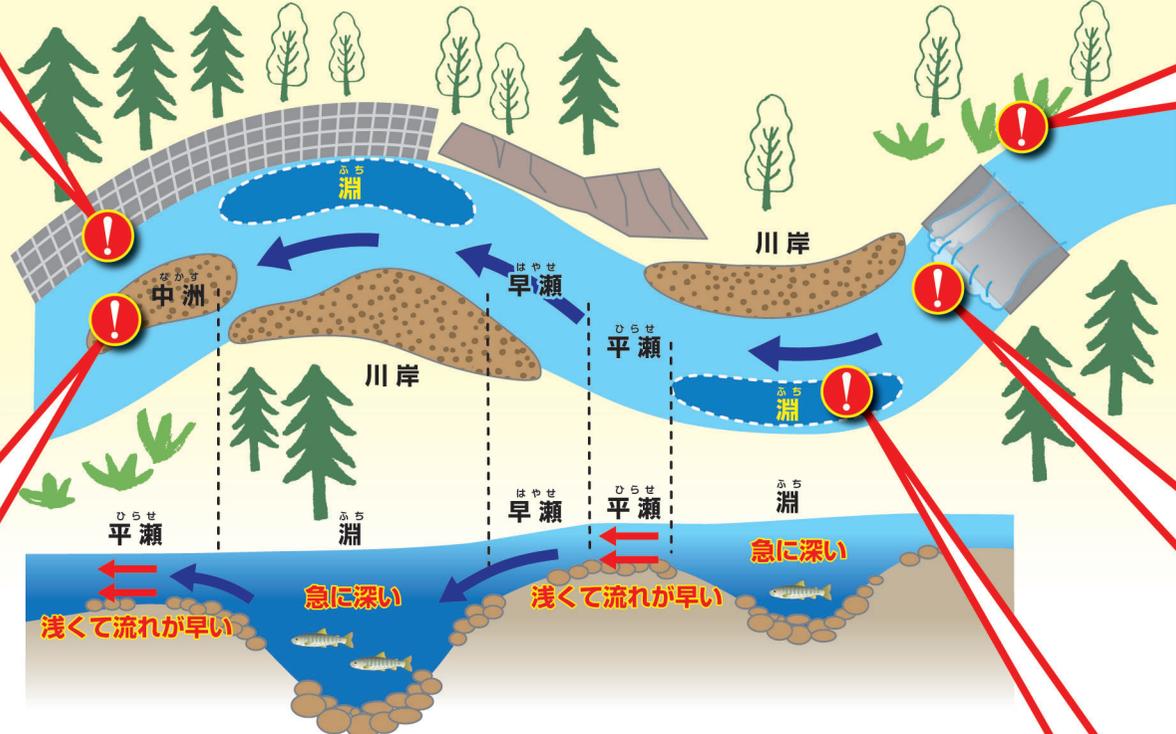


川や水辺での事故やケガの多くは川原や浅い水辺で発生しています
危険を知ることですく安全に遊みましょう

危険ポイント②

水位の変化・急激な増水

雨天時の中洲は、避難経路が増水で消える危険があります。天候の変化や増水には細心の注意を払いましょう。中洲に生えている草に注目!



危険ポイント③

川の側の草木が生い茂った所

草木が生い茂った所は、足を取られてケガをしたり水際や水面が見えにくいため急に川に落ちてしまったり、事故が起きても気づかれな可能性あります。



危険ポイント④

人工物(えん堤)と渦

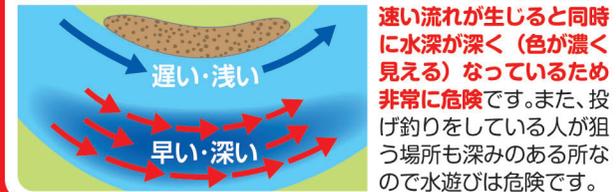
河川で最も危険な場所はえん堤です。えん堤には人工的な滝壺のような流れが起きて渦が見えます。これは水深が浅くても強烈な逆流(バックウォッシュ)が発生し、一度巻き込まれると脱出できないうえ、救助も困難を極めます。えん堤の上は歩かない! 渦を巻いている所は行かない!



危険ポイント⑤

水流の強さ・水深の大きな変化

川の水压は強大です。流される危険があるため膝以上の深さは行かないようにしましょう。またカーブしている場所は外側に強い流れが生じると同時に水深が深く(色が濃く見える)なっているため非常に危険です。また、投げ釣りをしている人が狙う場所も深みのある所なので水遊びは危険です。



川の事故から身を守るために川のセルフレスキュー知識が必要です

- 川に着いたらまず周りをよく見よう
- 怖いと感じたら引き返す
- 川に関する看板があれば確認しよう
- 川の水が濁っている
- 救命胴衣(ライフジャケット)の着用
- 必ず保護者同伴で行動
- 3月~6月初旬は雪解け水が川に流れて増水するので近づかない
- もしもに備えて安全に避難する方法を事前に確認しよう
- 川のリアルタイムな情報を確認し上流の状況についても把握しよう

国土交通省 川の防災情報

全国の雨量・水位等の情報をリアルタイムで提供しております



もし川で流されたら...

絶対ダメ 水に入って助けに行く無理な姿勢で手を出して助ける

正しい救助法

- すぐに仲間・周囲の人に助けを求める。
- 溺れている人に助けることを伝える。
- 119番に連絡する。
- 助けるための道具を探す。
 - ◎ 長い物: ロープ、棒など
 - ◎ 浮く物: 浮き輪、ペットボトル、クーラーボックスなど